

令和2年度 暁泉会暁学園事業報告書

1 コロナ禍における行事・保育の在り方

パンデミック化し、多くの犠牲者を出し、世界を震撼させ続けている新型コロナウイルス発生から1年余り経過する。収束どころか、変異株ウイルスが加わり更に泥沼化、益々状況の悪化が見られる。

奥州市においても異常な発生を呈し、それが学校・幼児施設にも波及し猛威を奮っている。

この1年、保育・行事においても「全ての日常」が失われ、感染の危機と直面する毎日であった。聞きなれない「三密」の言葉が連日の様に聞かれ、これから避ける努力を重ねた。そもそも幼児期の教育・保育は「密接」「密着」を基本とし要求されるものである。

まず私共が一番心したことは、園において「感染しない」「感染させない」ことである。子供たちの感染は家庭内感染が主であることから、父母には自分たちの生活を律し、リスクの高い行動を避けることをお願いした。これに加えてマスク着用の徹底、手指の洗浄・消毒、昇降口での体温の測定等々基本的な衛生管理の徹底を図った。また保育の一つ一つについても、職員間で話し合いを重ね、可能な限りの対策を取った。これが功をなしたのか、昨年度はインフルエンザが流行しなかったのは特筆すべきことである。更に万全を図る為4・5歳児における効果的なマスクの着用、6人掛用の机を可能な限り4人で使用。只今検討中・物色中で実施には至っていないが、給食時におけるパーティションの使用等まだまだ対策を強化したいと考える。

一方行事においては、全てにおいて内容の変更・縮小を求められるものであった。申すまでもなく行事は子供たちの成長の姿を全家族に発表し、一つ一つの成果を皆で喜び合うものである。変更・縮小の行事の中でも、例年であれば沢山の祖父母をお迎えしておもちつき会を職員・園児のみで行ったことは残念至極であったが、コロナ禍の状況の中でも、子供達に例年通りの行事の感動を味わわせたいという思いで臨んだ行事ばかりであった。

この1年間、保育・行事の両面において得た新しい発見・知識を今後に生かしたい。

2 開設日数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日	25	23	26	25	24	24	27	24	24	23	22	27	294

3 月別保育児童数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	7	7	7	7	9	12	15	15	17	17	17	17
1歳児	17	17	17	16	16	16	18	18	18	18	18	18
2歳児	13	14	14	16	16	16	15	15	15	15	15	15
3歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳児	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
合計	89	91	91	92	94	97	101	101	103	103	103	103

4 職員の状況（令和2年3月現在）

区分	専任	パート・非常勤等
園長	1	
副園長	1	
事務長	1	
事務員	1	
保育士	15	3
栄養士	1	
調理員		2
嘱託医等		2

5 クラス編成(令和3年3月31日現在)

クラス名	人数	クラス担任氏名
エンジェル組(0歳児)	17	及川ふく・吉田夢祈・千葉恵利美 高橋美里
ひよこ組(1歳児)	18	卓地祐子・菊地佳代・小野寺真澄
さくら組(2歳児)	15	櫻庭法子・菊池愛香
さく組(3歳児)	17	菅野知世
つき組(4歳児)	19	伊藤佳奈
つばめ組(5歳児)	17	家子茉生子
クラスフリー		伊勢亜美・鈴木ひさこ・菊地恵・中山理恵 森田由希子

6 主な年間行事・地域との交流

毎月	誕生会 身長体重測定 清潔検査 職員会議（毎週）
4月	入園式 新しいお友達を迎える会 お花見会（桜）
5月	「お母さんありがとう」似顔絵展 お花見（藤） 年長児お習字はじめ
6月	衣替え 内科検診（1回目） 歯科検診 「おとうさんありがとう」似顔絵展 お散歩遠足
7月	プール開き 1学期終業式 交通安全教室 消防訓練 七夕集会 動画保育参観 夏祭り
8月	2学期始業式 七夕展（年長児習字作品展示） 運動会
9月	運動会ごっこ(0～2歳児)
10月	作品展 内科検診（2回目）交通安全教室(2回目)
11月	七五三集会 クリスマスおゆうぎ会 2～5歳児 おゆうぎ会ごっこ 0～1歳児 交通安全教室（2回目）
12月	おもちつき会 クリスマス会 2学期終業式
1月	書初会 書初展（年長児習字作品展示）3学期始業式 卒園進級記念撮影 いちご狩り(年長)
2月	豆まき会
3月	ひなまつり会 人形劇観劇 年長児生け花教室 卒園式 3学期終業式

※避難訓練は毎月実施

※地域との交流

新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

7 安全管理・交通安全教室等

交通安全教室および歩行訓練

実施月 7月 奥州市交通安全指導員2名

参加人数 5歳児(17人)4歳児(19名)3歳児(17名) 計53名

内容 紙芝居・スライドによる指導

実施月 10月 奥州市交通安全指導員5名

参加人数 5歳児(17人)4歳児(19名)3歳児(17名) 計53名

内容 5歳児 道路に出るの歩行訓練・横断歩道の渡り方訓練

3・4歳児 ホールにて信号の見方・横断歩道の渡り方訓練

散歩 好天時、散歩を兼ねながら歩行訓練をする(4～5歳児)。

8 避難訓練の状況

実施日	内容	参加園児数	実施日	内容	参加園児数
4月24日	訓練説明	81人	10月20日	不審者侵入	99人
5月21日	地震・火災	90人	11月20日	地震・火災	97人
6月26日	地震・火災	87人	12月22日	地震・火災	101人
7月29日	洪水	92人	1月21日	地震・火災	97人
8月20日	地震・火災	92人	2月19日	地震・火災	97人
9月18日	地震・火災	94人	3月25日	地震・火災	96人

9 保健・健康管理について

① 1年を通しての実施内容

- ・職員・園児への手洗いの徹底(泡ハンドソープの導入。ハンドソープのボトル消毒、補充。手洗いの声掛け。消毒液の使用指導と補充。)
- ・園内の清掃、消毒の実施と指導(ハイター水の作成、濃度指導。おもちゃの消毒の実施と指導。園内清掃の実施と指導。)
- ・検温の実施(定期：午睡前。発熱時の連絡。)
- ・下痢、嘔吐時の対応と指導(下痢や嘔吐症状の把握と職員間及び保護者への連絡。消毒の実施。)
- ・発熱時の対応と指導(再検と経過観察。水分摂取、服装の調節などの実施と指導。必要時隔離する。状態の把握と職員間及び保護者への連絡。保護者への指導。必要時緊急受診。)
- ・薬の管理と与薬、職員への服薬指導(預かり薬の管理。取扱い方を担任等と共有、指導。与薬の実施)
- ・身体測定の実施(毎月第3週に全園児の身長・体重を測定。結果を栄養士、担任、保護者と共有する。必要時、保護者等へ指導)
- ・保健室内の管理(救急箱の管理。清掃。使用後の消毒)
- ・予防接種受診表、与薬依頼書、登園届、ほけんだよりの作成と管理
- ・感染症が複数人発生した場合の保護者への注意喚起、指導
- ・フッ素洗口の実施
- ・オムツ交換時の指導、使用済みオムツの取り扱いについて連絡と指導
- ・受傷時や発病時の対応と指導。
- ・職員の健康状態の把握。

② 各月ごとの実施内容

- ・4月：緊急時用預かり薬の確認と保護者への連絡。つき・つばめ組へフッ素洗口を5月開始に向けた説明

と承諾書の管理。

- ・5月：フッ素洗口の開始。
- ・6月：加湿器の消毒、撤去又は使用中止。内科健診、歯科検診の補助と保護者への連絡。
- ・7, 8月：熱中症対策の指導と徹底。プールの水質管理と清掃。
- ・9月：気温の高い日は熱中症対策の指導と徹底。
- ・10月、11月、12月：加湿器の使用開始と管理。インフルエンザ予防接種の実施状況把握と接種の推奨。
内科健診の補助と保護者への連絡。

- ・1, 2月：手指の乾燥への対策(保護者への連絡。適宜ワセリン使用。)室内温度と湿度管理と指導。
- ・3月：全園児の予防接種の状況把握。病児保育室の使用状況総括。

③ 新型コロナウイルス感染症への対策

- ・空気清浄機の購入と使用。
- ・マスクの購入と着用の徹底。
- ・アルコール消毒スタンドと検温モニターを購入、設置し使用。
- ・手指洗浄、手指消毒の徹底。
- ・清掃、消毒の徹底。
- ・職員間及び保護者への感染症対策の依頼と指導。
- ・職員の検温表の作成と管理。

④ 反省

- ・感染症の対策が徹底されたことで、単発的な発生や兄弟間感染等は見られたが、感染症の集団発生は見られなかった。
- ・発熱や体調不良時の対応について、基本的に保育室内での安静になってしまった。今後、発熱時は基本的に保健室へ隔離し安静ができるように、余裕のある人員配置の依頼や状況の把握、職員への指導を行いたい。
- ・職員の体調不良もほぼなく、あった場合も声掛けを行い、速やかに受診と対応ができた。
- ・園内清掃、消毒がより徹底された。
- ・保護者との連絡の際に、お互いの理解不足等により難しい場面があった。日頃から連絡を密にとり、信頼関係を築くよう意識したい。また、口頭だけでなく紙面等に残る方法で確認する。園内での保健、健康管理についての基本をしっかりと構築し、それを徹底する。

10 給食業務 (食物アレルギー対応、食育指導内容 等)

① 食物アレルギー調査、食生活実態調査の実施

給食を提供するに当たり、園児のアレルギーの有無や、個々の食習慣など情報の把握。

○ 年度初めに食物アレルギー調査の実施

令和2年度 食物アレルギー対応事業対象児 (5名)

魚アレルギー 2歳児1名、3歳児 1名

卵アレルギー 2歳児1名、5歳児 1名

非加熱乳製品アレルギー 0歳児1名

医療機関からの「生活管理指導表」をもとに、園・家庭・医療機関との連携を図りながら対応していった。

○ 5月に食生活実態調査の実施

食生活実態調査から見えてきた課題をもとに、食育計画と、給与栄養量を策定。

② 食育指導内容について

令和2年度は、子どもたちに実際に食材に触れることで、五感を使って食べ物への興味・関心を引き出すような取り組みにしたいと考えた。

ミニクッキングも取り入れ、調理過程で食材が変化していく様子を観察したり、旬の食材にまつわるお話しをしたり、実際に食材に触れたり、切り口を観察したり、「自分で何かを発見する喜び」を見つけることができたのではないかと思う。

1.1 園外研修・園内研修

園外研修

県・市等から案内のあった研修会を基本とする。

※令和2年度は研修会参加予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより中止などになる事が多く、また感染予防の観点からも当年度は参加を見送った。

園内研修(月1回・月初め)

日付	研修内容
4月	研修内容検討
5月	研修内容決定
6月	感染症対策について
7月	〃
8月	〃
9月	ケガの対応について
10月	〃
11月	心肺蘇生法
12月	アプローチカリキュラムについて
1月	〃
2月	保育の反省・振り返り
3月	まとめ
通年	毎月心肺蘇生法の訓練を実施する ※心肺蘇生法の訓練方法 DVDを見ながらポイントを確認し訓練キットを使用する。

1.2 施設の整備・強化

① 新型コロナ対策

※空気清浄機 1,112,000円(ケーズデンキ)

※非接触型検温器 220,000円(I T S O L E X)

※玩具滅菌庫 298,000円(ひかりのくに)

② 環境整備用機械

※乗用草刈り機 522,000円(みちのくくボタ)

※除雪機 271,000円(田中機械)

③ 園内修繕費等

※消防設備交換等 232,540円(江刺電工)

※保育室棚取付 180,000円(伸和ハウス)

※職員用下駄箱 270,000円(伸和ハウス)